

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

甲子園大学 実施報告書



実施主体 医療福祉マネジメント学科4年生他

実施内容 平成25年11月日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・ 児童虐待問題については、すでに授業の中で学習していたが、改めて児童虐待防止対策を進める上で、市民への啓発が重要で、オレンジリボン運動の意義について再確認した。
- ・ 「オレンジリボン運動」の啓発を意識し、オレンジ色のグッズ(Tシャツ、飾りなど)を用意した。
- ・ 大学所在地の宝塚市要保護児童対策地域協議会が実施する街頭キャンペーンへの参加について同意を得たが、授業日程との関係で参加できなかった。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・ 学園祭に来場した市民・卒業生・在学生に対して児童虐待問題を理解してもらい、虐待に気づいた場合の通告の重要性について知ってもらうためにポスター掲示を行い、チラシなどを配布、オレンジリボン運動について呼びかけた。
- ・ 近隣の商店街活性化事業に大学が参加した中で、来場者にオレンジリボン、チラシを配布し、児童虐待防止の啓発を行った。
- ・ 11月中は、学内に啓発ポスターを掲示した。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・ 11月が児童虐待防止月間であることを伝えながらチラシを渡すとすべての人が好意的に受け取ってくれた。児童虐待防止に関心を持っている様子を感じられた。
- ・ 中には、配布したオレンジリボンを早速胸につけて、大学祭会場を歩く市民の方々もおられた。
- ・ 模擬店で販売した“たこ焼き”の楊枝にもオレンジリボンをつけたところ、注目された。
- ・ 大学祭には、学科の卒業生も来場し、オレンジリボン運動にも関心をもち、協力してくれた。

